



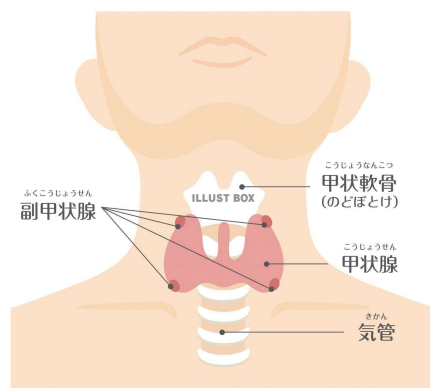
甲状腺超音波検査について

甲状腺とは？

甲状腺は、首の真ん中よりやや下(のどぼとけの下)にある小さな臓器です。

大きさは 4～5cm, 重さは 15～20g で、蝶が羽を広げたような形で気管を包み込むようにあります。

正常な甲状腺はとてもやわらかいので、腫れていなければ触ってもわかりません。甲状腺が腫れている場合、健康診断などで医師が首を触診することで分かります。ひどく腫れてくると、見ただけで分かることもあります。



甲状腺の働き

食物中のヨードを原料として、体に必要不可欠な甲状腺ホルモンを作っています。

このホルモンは体の代謝を調節し、エネルギーの生成や体温の維持、心臓や脳の機能など、生命維持に不可欠な働きをしています。

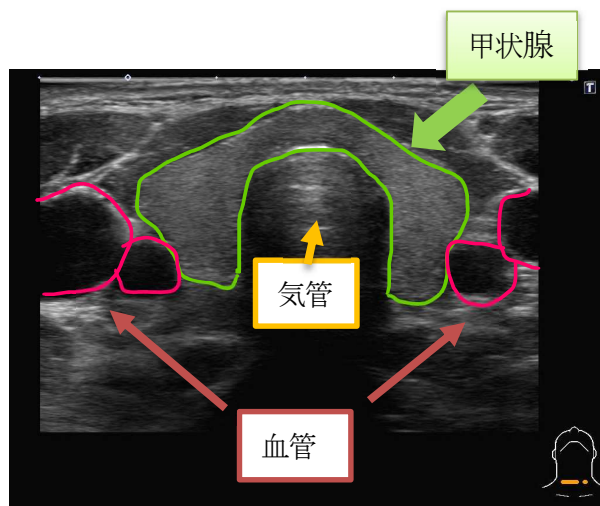
甲状腺ホルモンが多い場合は甲状腺機能亢進症(バセドウ病など)、甲状腺ホルモンが少ない場合は甲状腺機能低下症(橋本病など)です。

甲状腺ホルモンが多いと甲状腺の働きが過度に活発になり、脈が速くなったり、体温が上がったりします。対して、甲状腺ホルモンが少ないと甲状腺の働きが過度に緩慢になり、動作が鈍くなったり、体温が下がったりします。

甲状腺超音波検査とは？

超音波を使って甲状腺の大きさ、形、内部構造(結節、腫瘍など)を調べる検査です。検査用のゼリーを首に塗ってプローブを当てていきます。痛みや放射線の被曝がない安全性の高い検査です。

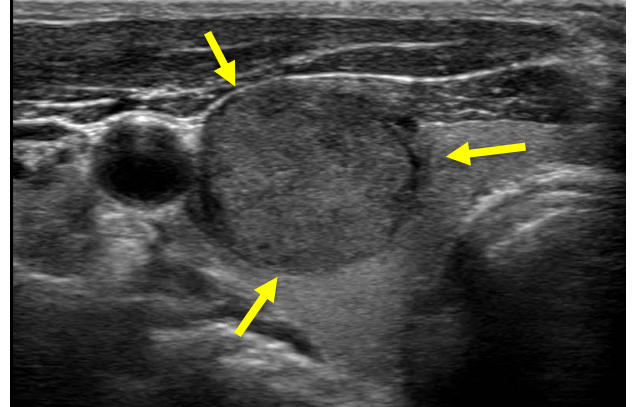
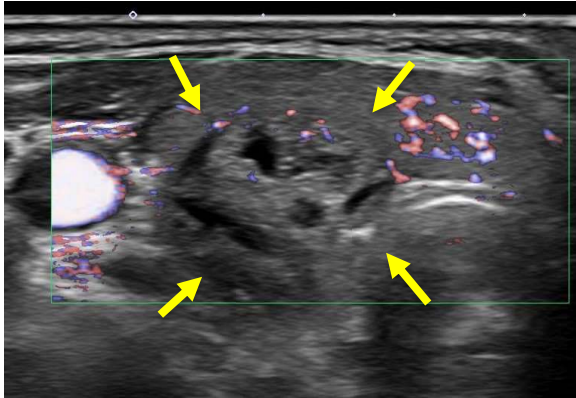
甲状腺のしこり(結節)や腫れ(腫大)の有無、良性か悪性かの鑑別、慢性的な炎症(甲状腺炎)の評価など、様々な甲状腺疾患の診断や経過観察において重要な検査となります。



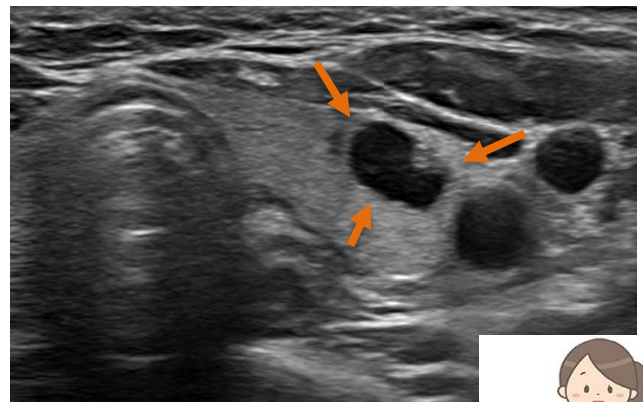
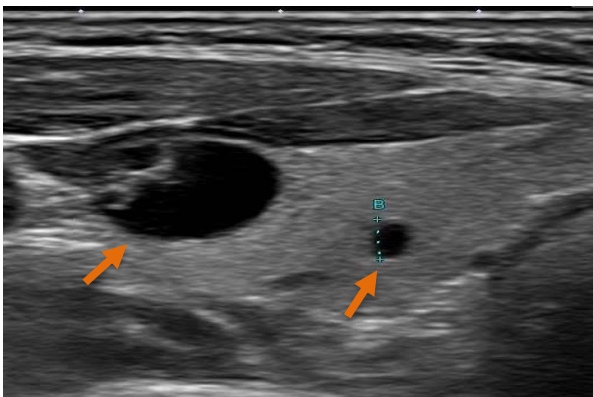
甲状腺超音波検査で見つかる所見

甲状腺超音波は小さい変化も見つかりやすい検査です。10人中3～5人程度の割合で甲状腺の中にしこりが見つかることがあります。しこりは珍しいものではなく、特に年齢とともに見つかりやすくなります。

(例)甲状腺結節を疑うしこり(2cm くらいのしこりを認めます。)



(例)のう胞(液体がたまった袋状のもの)



多くは良性で、すぐに治療が必要になることはありません。
しこりの形や大きさ、内部の様子などを観察し、必要と判断された時には、
経過観察や追加検査を行うことがあります。



検査のご予約やご相談は、Tel.03-3668-6800 へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。
ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。
今後ともよろしくお願いいたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局
Tel.03-3668-6803 / E-mail: mail@soiken.or.jp